



# 地域医療へのさらなる取り組み

創刊2号目となる今号では、地域医療連絡室の室長でもある梶浦副院長が、今後の連絡室のあり方について、抱負を話します。

せんぼ東京高輪病院 副院長 梶浦 直章



## Contents

- ・地域医療へのさらなる取り組み  
副院長・地域医療連絡室長 梶浦 直章
- ・診察科のご紹介  
外科  
各科の緊密なチームワークも質の高い医療を維持していくキープポイントです
- ・NEWS & NEWS  
品川地区定例研究会より  
院内あれこれ  
新任医師のご紹介  
地域医療連絡室からのお知らせ

### 病診連携の充実をめざして

せんぼ東京高輪病院 地域医療連絡室は、平成10年4月、新病院建築中に誕生いたしました。翌平成11年3月に新病院完成を迎え、地域の先生方のご要望にこたえるべく病診連携の充実をめざしてスタートし、今年で8年目に入ります。スタート当初は医事課職員の併任スタッフで対応しておりましたが、年毎に紹介患者様や検査の依頼が増加し、スタッフの専任化を図るほか増員をするなどしてご要望に応えてまいりました。

この間は来院報告や結果報告などが遅れることも多々あり、催促やお叱りの電話を頂戴することも多く、行き届かない点について紹介元の各先生方にはだいがご迷惑をおかけしたのではないかと恐縮しております。しかし、ここ数年間でスタッフも充実することができ、業務も改善を図ることができたのではないかと考えております。

昨年の平成16年10月には予約センターを立ち上げ、MRIやマルチスライスCTの画像診断、上部消化管・下部消化管の内視鏡検査などの予約を一元的にできる体制を構築し、手続きの簡略化をはかりました。このシステムは先生方にご利用いただき好評を頂戴しているところでございます。

この4月にはさらなる強化策として前号でお知らせしましたとおり、医事課室内から地域医療連絡室を独立させ、専任体制を敷くことによって、紹介患者様に対するサービスの向上をはかることといたしました。病院玄関を入りましてすぐ左手、従来は喫煙室であったスペースを、4月1日から館内全面禁煙としたのを機に、地域医療連絡室・予約センター事務室に模様替えいたしました。

### 今後の取り組み

今後この部屋では諸先生方からのご紹介、各種検査の予約、受付を行うほか、紹介元の先生方に対する患者様の来院報告や、診察ご報告の発送業務を確実に行ってまいります。またご紹介いただいた患者様が来院されたときには、診察手続きや外来診察室へのご案内を行うなどスムーズに安心して診察が終わるようスタッフを配置しております。このほか地域医療連絡室の業務といたしましては、以下のような各種行事を行うことになっております。

### 地域医療懇話会の開催

毎年11月に港区医師会をはじめ近隣の先生方にご出席いただき、開催しております。例年、内科系、外科系代表医師によるそれぞれの研究発表のあと懇親会を実施しています。今年度も11月に企画しており詳細につきましては次号でお知らせできると思います。

### 地区別地域医療懇話会の開催

地区別・診療科別にテーマをしぼり、懇話会を開催する予定です。

### 港区医師会・当院合同の接遇研修の開催

本年2月に当院の外来ロビーにおいて第1回の研修会を開催しました。このときは元NHKのアナウンサーを講師に招いてロールプレイングと講演を行い、たいへん好評でした。秋に第2回目を企画しております。(裏紙紙参照)

### 診療科別症例検討会 C P C

ご紹介元の先生方との連携強化を図るため、従来院内にて実施していた検討会にご参加いただけるようご案内申し上げます。

### せんぼだよりうえぶ の発行

当院の診療科の紹介や各種ご案内の広報として2か月に1回発行いたします。

以上 当院における地域医療連絡室の業務と今後の取り組みについてご紹介いたしました。まだまだ勉強する点も多く、各先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻賜りますとともによりいっそう当院をご利用いただきますようお願い申し上げます。

### 医師会活動への参加

私は 本年3月の港区医師会総会におきまして高輪地区のご推薦をいただき理事に任命されました。今回で4期目になりますが、厚治会長のもと前年に引き続き病院委員会を担当することになりました。医師会においても病・診、病・病、診・診の各連携強化に、微力ではありますが取り組んでまいりたいと思っております。当院では院長以下10名の医師が医師会会員となっており、今後とも積極的に医師会活動に取り組んでいく所存でございますので、よろしくお願ひいたします。

また、私は医師会ゴルフ部にて会計幹事も担当しております。こちらのほうも何卒よろしくお願ひいたします。



ロビー全景

診療科のご紹介 外科

# 各科との緊密なチームワークも 質の高い医療を維持していく キーポイントです

術前・術後の各場面において常に良好な協力体制を維持しています。

## 副院長 梶浦直章

一般外科、乳腺、呼吸器、上部・下部消化管、肝・胆・膵、血管外科を各スタッフが分担・協力して診療にあたっています。

私自身は消化器、血管外科を担当しています。血管外科では腹部大動脈以下抹消動脈疾患や静脈瘤などの静脈疾患を扱っています。最近では閉塞性動脈硬化症、糖尿病性抹消動脈閉塞症例が増えてきております。

5名の外科医に麻酔科2名がチームを組んで治療にあたっており、急性症例にも充分に対応できますのでご紹介をよろしくお願いたします。

当院の特徴のひとつに、240床の中規模病院としては各診療科



外科ドクターの面々：左から板谷、豊田、梶浦、三山、小山

間の連携・協力体制が非常によいことがあげられると思います。消化器・呼吸器・循環器・腎・糖尿病各内科のスタッフとは術前・術後の各場面において常に良好な協力体制が維持されています。

また当院では、3階西病棟が外科の主たる病棟となっていますが、泌尿器科・婦人科も同フロアを使用しており、この3科の協力は日常的に行われ、私どもではこの3階西病棟を「骨盤センター」と称しております。

骨盤内臓器等の外科治療においては時に3科合同で手術を施行し、好成績を得ています。

## QOLを第一に考えた外科治療を行ないます

常に医療を受ける人の立場に立った診療をめざし、具体化してきたせんぽ東京高輪病院の医療チーム。外科と各科の連携があつてこそ、きめ細やかな治療が為されています。ここでは実際の症例をあげて治療の経過を紹介します。

## 外科部長 小山広人

腹部外科、なかでも肝胆膵、大腸を担当しております。水曜午前、金曜午前の外来のほかに、エコー（木曜午前。腹部を中心に、乳腺、血管、甲状腺など）、大腸内視鏡（金曜午後）を行っています。当科外来には、超音波診断装置2台を備えて、『内科医における聴診器』として、リアルタイムの診療を行なうようにしております。

外来では、術後の患者様のフォローだけでなく、外来化学療法、さらには、肝転移に対する動注治療などもおこない、QOL、日常生活を大事にした治療を広げています。

ここで、他院からのご紹介で、肝動注治療の後、切除可能となった大腸癌肝転移切除の一例を提示させていただき、ご挨拶に代えたいと思います。

### 大腸癌肝転移切除手術の例

68歳男性。平成16年9月 他病院にて 同時性肝転移をとまなう直腸癌（Rs Type2 Stage4 H3）に対し低位前方切除術



図1 他院初診時CT



図3 治療後CT

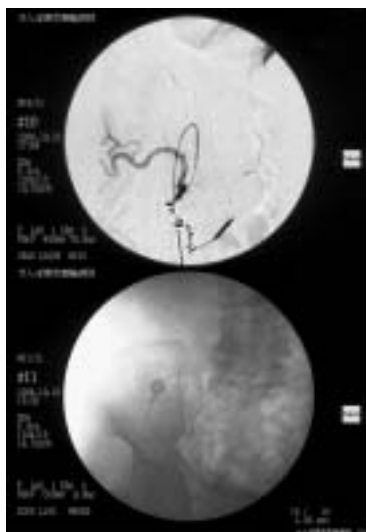


図2

(D3) 施行（病理：6x7cm Type2 circ, mod.diff.adenoca., ss, INF, ly1 v0 ow-awew- n3）。肝臓右葉全体（S5-8）から左葉へ浸潤する高度の肝転移（図1 他院初診時CT）に対して肝動注療法が選択され、紹介にて、平成16年10月、当院に転院、肝動注ポート留置を行なった（図2）。退院後、約4ヵ月あまり、終口抗癌剤（UFT-コーゼル）、そして、動注（5FU1000mg・/週1回）を併用し、CEA 1750 330まで減少。著効を示し、肝右葉切除での切除が安全に施行可能となったため（図3 治療後CT）肝切除目的で平成17年3月23日再々入院。ICGR15 12%、Alb 3.2、Hb 10。3月28日 逆L字切開、右第9肋間にて開胸開腹。腹膜播種なし 肝右葉全体をしめる肝転移であり、中肝静脈を切除側に含める拡大肝右葉切除を施行。周囲腹膜との軽度の癒着にくわえ、背面頭側にて横隔膜と径4cmの強固な癒着あり、この部の横隔膜も合併切除した。手術時間5時間30分、出血1030ml。赤血球輸血なし。切除重量1140g。病理報告では、metastatic adenocarcinoma, surgical edge(-)であり、横隔膜への浸潤はなかった（図4 標本写真）。術後も輸血なしで経過し、3月31日夕（第3病日）から飲水、食事を開始し、4月24日退院された。



図4 標本写真

外科の入院患者様にも、高齢者や代謝、循環器・呼吸器・腎臓などさまざまな合併症をかかえた方が日々増えております。手術療法のほかにも、早期癌にたいするEMR、胆道や消化管狭窄に対するステント治療、肝動注、HCCにたいするラジオ波、TAEなど、さまざまなモダリティーの治療を駆使して診療しております。

循環器内科、呼吸器内科、透析科、脳外科、心臓血管外科、整形外科などをそろえた、当院のような中堅病院は、他科との連携もスムーズであり、さまざまな患者様の治療に迅速に対応できます。

それにより患者様にも満足していただいております。まさに、このような当院の利点をご評価いただきたいと思います。



## 十分なインフォームドコンセントに基づいた適切な治療を心がけています

患者様に負担をかけず最善の医療を行なうために、当院として何を心がけているのか。治療の最前線はどのように行なわれているのか、外科部長に訊ねてみました。

外科部長 三山健司

消化管の外科（食道から肛門まで）および、肺・縦郭の外科、乳腺の外科を担当しております。

外来では火曜午前、土曜午前の通常の外来のほかに、火曜午後の乳腺外来を担当。さらに木曜午前に上部消化管内視鏡を行っています。

ここで担当する各部門につきまして、心がけておりますことなど述べさせていただきます。

### 消化管の外科

近年、当院におきましても、ご高齢の患者様が増加しております。私も、十分な術前検査の上で、心肺肝腎等の重要臓器に大きな異常がなければ、たとえば90歳を超えるような患者様も含め、上述しましたような経験を生かし、また各科専門医とも連携し、患者様に過重な負担がかからないよう考慮しながら、積極的に手術に取り組んでいます。

### 肺・縦郭の外科

良性疾患であれば、最近は一般的であるVATS（胸腔鏡利用による胸部外科手術）の手法を利用し、できるだけ患者様の負担を軽減できるようにしています。また悪性疾患では、EBMの観点から現在のところ開胸手術を基本としておりますが、新井先生をはじめとした呼吸器内科医と連携し、患者様への負担を考慮し、必要十分な手術を行うよう努めており、必要であれば手術に引き続きの化学療法も施行しております。

### 乳腺の外科

当院健康管理センターとの連携を含め、一次・二次健診において、超音波検査、マンモグラフィーを利用しての病変の早期発見に努め、さらに発見された病変に関しましては、患者様の負担軽減を図りつつ、穿刺細胞診、針生検を利用して、より確度の高い良悪性の判断に努めております。

乳癌と診断された患者様に対しましては、手術、および術後の化学療法、内分分泌療法等、EBMの観点、および各種ガイドラインに基づいた治療を基本としております。ただし治療内容としては画一的となるのを避け、患者様に十分ご説明ご相談の上、治療方針を決定するようにしています。また、患者様が、リスクについて十分ご理解の上であれば、必ずしも一般的でない治療法につきましても、ご相談を承るようにしております。

さらに、不幸にも転移再発等が発見された患者様に対しましては、なるべく多くの選択肢のなかから、疼痛管理も含め、よりQOLが高く、かつ長期にわたり有効な治療法を患者様とご相談しながら選択していくようにしております。

また、術後も含め、化学療法が必要となる患者様につきましても、できる限り外来にて施行できるようにしております。

### 内視鏡を利用した治療

PEG（内視鏡的胃瘻造設術）にも対応しています。より安全な材料、手技により、術後の合併症が少なくなるよう努めております。PEG目的の御紹介も承っております。

以上述べましたように、十分なインフォームドコンセントを得た上で、患者様にとって、より少ない負担で、よりよい結果が得られるよう、今後とも努力してまいります。

今後ともよりいっそうのご指導を賜りますようお願い申し上げます。さらに、年齢、リスク等で迷われるような症例も含め、患者様をご紹介いただければ幸いに存じます。



外科手術風景

## 医療サービスとしての観点からみた当院の診療の利点について

外科部長 豊田宏之

私は主に肝胆膵領域を始めとする腹部外科一般を扱っており、血管撮影（肝癌に対するTAEを含む）、胆道系intervention治療も積極的に行っています。

当院は、大病院に比べ人的資源（職員数・ベッド数）の制約はありますが各診療科間の垣根が低い利点を生かして「専門志向」の強い施設では享受しにくい医療サービスを受けられます。外科としてのレベルアップをはかる一方で、欧米型医療に追従

する傾向の高い現在の医療システムの落とし穴に患者様が陥らなくてすむためにはどうすればよいのが今後の課題です。

## 一つ一つの症例に全力で取り組みたいと思っています

板谷慶一

大学病院での研修を終え、せんば東京高輪病院で外科部長先生達の指導のもと、一般外科の修練を行っています。地域の先生方には平素より非常に勉強になる症例を多く紹介していただき、大変お世話になっています。

これからも一つ一つの症例に全力で取り組んでいきたいと思っていますので、今後ともご指導の程よろしくお願いたします。

NEWS  
&  
NEWS

## 品川地区定例研究会より

## 地区別地域医療懇話会

5月18日 品川地区の先生方による定例研究会があり、テーマが高血圧ということで、当院の循環器センターにお声をかけていただき当日は院長以下循環器内科医師4名、心臓血管外科医師2名、地域医療連絡室スタッフ2名の合計9名が参加させていただくことになりました。

当日は各診療所の診察終了にあわせた午後7時45分という比較的遅い開始時間にもかかわらず、20名を超す多くの会員の先生方が参加されました。

先生方は仕事の疲れも見せず当院・出川副院長の高血圧に関する「Action study」の講演のあと、高血圧の治療に関する活発な質疑応答が交わされました。

続いて戸田院長が簡単に当院を紹介したあと、地域医療連携についてお話があり、実際の患者様の紹介に関する各先生の質問には同行した地域医療連絡室スタッフを交えてご説明をいたしました。ここでもさまざまなご要望・ご意見を先生方から伺えたことは、今後の医療連携に必ず役立つことと思っております。その後も当院医師と先生方の熱のこもった意見交換が続き、非常に有意義な研究会でした。

当日代表役員の先生が言われた「顔の見える医療連携」を合言葉として、今後もせんぽ東京高輪病院・地域医療連絡室はあらゆる機会を捉えて先生方とお顔を合わせて、ご意見ご要望を伺ってまいりたいと思っております。

他の地区や先生方のグループの集まりがございましたら、ぜひお声をかけてくださるよう、よろしく願い申し上げます。



品川地区定例研究会  
会場の様子



## 院内あれこれ

### 皮膚科 レーザー外来

創刊号でお知らせしましたが、5月から毎週木曜日午後3時より予約制で診察を実施しております。ほくろ、シミ、あざなどを炭酸ガスレーザーを使って処理していきます。受診された方からは「簡単にできて効果も満足」との評価もいただいています。受診の詳細につきましては地域医療連絡室までご連絡ください。



レーザー治療の様子

### 小児科 神経・発達外来

5月9日から月曜日の乳児健診に引き続き、専門外来として実施しております。専門の医師及び臨床心理士による診療体制をとっていますのでぜひご紹介くださるようお願い申し上げます。

NEWS  
&  
NEWS

## 新任医師のご紹介



内科・循環器科の天野医師に代わって新たに6月1日より赴任した中西理子医師です。

## 地域医療連絡室からのお知らせ

4月から発行しておりますせんぽだよりうえーぶ第2号をお届けいたします。

スタッフ一同、業務の合間に各先生への原稿依頼・催促やカメラ撮影に、となれない編集作業を手探りの状態で作っております。慣れるまでの間は、多少不行届きのところもあるうかと思いますが何卒ご容赦ください。ご覧になった感想はいかがでしょうか。地域医療連絡室へのご紹介FAXの折に連絡室への要望やうえーぶの感想も送っていただければ誠にありがたいと思います。

次号は内科の消化器・呼吸器部門をご紹介しますほか、8年ぶりに更新するオーダリングシステムについて掲載する予定です。また、今後取り上げてほしいことや、当院に対するご意見やご希望などございましたらぜひお聞かせくださるよう、あわせてお願い申し上げます。



今年2月に港区医師会と合同で、当院にて行われた接遇研修会

～アルバムから～

